

経験者に聞きました!

2021 とこわか国体通信 Vol.4

三重県で46年ぶりに開催される国体、第76回国民体育大会「2021 三重とこわか国体」まであと470日となりました!(6月2日時点)

今回は、いなべ市出身(北勢町)のハンドボール経験者で、国体にも出場された高橋さんに話を伺いました。

●ハンドボールを始めたきっかけは?

小学生のころから運動が好きで、野球、柔道、スイミングをしていました。中学生になり、部活は球技がしたいと思い、あまり馴染みのないハンドボール部に体験入部をしてみました。とても新鮮で楽しく、ボールを投げるのも得意だったことから、入部を決めました。

●ハンドボールの魅力は?

走って、跳んで、投げてという躍動感あるダイナミックなプレーや、攻防の切り替わりが早いことが特徴です。全員が常に40mあるコートを走り回っている感じです。

また、ポジションやシュートの角度によって打ち方が変わるので、そこにも注目してほしいです。



問 国体推進室
T 86-7847



高橋亜衣美さん

中学3年生のときに、東海大会やJOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会に出場。高校生・大学生・社会人では国体出場や全日本女子にも選出されました。大学卒業後は、三重バイオレットアイリスに所属し、活躍されていました。

●国体の思い出は?

高校生のときに民泊をして、地元の人と交流ができたことが思い出です。

県のユニフォームを着て出場するので、独特の緊張感がありましたがたくさんの人に応援されてうれしかったです。小さめの会場だったので、観客席が近く、声もよく届き、応援はとても力になりました。

●2021年の三重とこわか国体に向けて

三重県代表の選手にとって、三重県(ホーム)で試合ができることは、地元の人々の応援でモチベーションが上がります。また、家族、恩師や友達にプレーを見てもらえるまたとないチャンスです。自分がやってきたことをプレーでみせることで、恩返しができる大会だと思っています。

県の代表選手のためにも、たくさんの人に会場に足を運んでもらえると嬉しいです。



全日本女子でアジア大会2位に入賞し、笑顔の高橋さん(前列左から3人目)



生活情報
「まいめる」



携帯用
「モバイルサイト」

救急医療情報

- 三重県救急医療情報センター T 059-229-1199
- いなべ医師会(在宅当番医) H <http://inabe-med.or.jp/>
- 医療ネットみえ H <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

人口情報(令和2年5月1日現在)

総人口: 45,628 (+26)
世帯: 18,719 (+100)
男: 23,358 (+34) 女: 22,270 (-8)

